令和8年度版「学力向上ポートフォリオ（学校版）」【芝原小学校】

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する資質・能力	(1)粘り強く学習に取り組む態度 (2)自らの学習を調整する力
⇓	
実施する学力向上策【時期・頻度】	(1) 個別最適な学びと協働的な学びによる言語活動の充実を図る。また、児童が自らの課題を設定する場面を継続的につくり、その達成に向かっていく過程を支え評価していく。【各単元の中で1回以上】 (2) 課題解決の過程における自分や友達の学びの深まりや疑問に思ったこと、自分の学び方についてをふり返ることができる時間を設定する。【単元末】

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	・国語では「読むこと」の領域に関して課題がみられた。解答類型をみると、目的に応じた必要な情報を見付けたり、文章を読んで自分の考えをまとめたりすることができていない児童が多かった。 ・算数では、「数と計算」の領域に関して課題がみられた。小数や分数の計算問題、割合等の数量の関係についての問題に対してつまずきがみられた。 ・「自らの学習を調整する力」と関連する質問「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」について、肯定的な回答が9割以上であった。
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	・文章から要点を読み取ったり、自分の考えをまとめたりすることに対して課題がみられる。 ・問題を読み取り、数量の関係を正しく捉えることに関して課題がみられる。 ・多くの児童が、主体的に学習を調整することができていると考えられる。

③	中間評価	
学力向上策の実施状況	評価(※)	学力向上策(1)・(2)ともに実施することができている。(1)については、児童の実態を踏まえ、児童が言葉を使って情報を整理し、考え、表現し、他者と伝え合う学習活動を引き続き実施し、言語活動の充実を図ることにより、学力向上につなげていく。
	B	
⇓		
学力向上策の見直し	(変更なし)	

※評価　A 8割以上（達成） B 6割以上（おおむね達成） C 6割未満（あと一歩）

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	

⑤	年度末評価	
学力向上策の実施状況	評価(※)	
⇓		
今年度の成果と次年度の課題		

※評価　A 8割以上（達成） B 6割以上（おおむね達成） C 6割未満（あと一歩）